

# マツダ冷間鍛造技術ニュース



皆さんこんにちは！冷間鍛造のマツダ、業務部の深水です。毎月皆様に、開発・設計のお役に立つ冷間鍛造技術についてお伝えして参りますね！

5月といえば、ゴールデンウィークでしたね。弊社も大型連休となり、私は久しぶりに会った友達といちご狩りに行ってきました。農園には初めて行きましたが、採れたては本当に甘くておいしかったです！家族連れの方も多くて、のどかな雰囲気癒されました。来年のGWにご家族で行かれてみてはいかがでしょうか？それでは今月の冷間鍛造技術ニュースをお伝えしますね。



## ニュース① 異形状・異材質の冷間鍛造品の試作からお任せください！



四角形状をはじめ、異形状品の試作～量産まで対応しています。



マツダ株式会社では、フォーマー機による横方向の鍛造加工に加え、縦方向の鍛造加工にも対応しています。縦方向の鍛造加工ではアマダ社製のサーボプレス機を導入し、フォーマー機では加工が不可能とされている丸棒形状以外の異形状品の加工にも対応しています。例えば、左にあるような角形状の鍛造品の加工にも対応が可能です。また、社内で金型の内製化も行っていることから、試作開発段階からお客様をサポートする体制を整えて、切削加工などからの工法転換の提案も行っています。フォーマー機を用いた冷間鍛造品はもちろん縦型プレスで行うような角形状品などにも対応が可能です。鍛造加工なら試作～量産まで冷間鍛造のマツダにお任せください。

## ニュース② 切削レス化でコスト 1/10 を実現！

こちらの製品は従来、切削加工で製造を行っていた製品で、中ツバを持つパイプ形状素材を用いて六角部の加工と円筒部の加工を2工程に分けて旋盤にて行っていました。しかし、お客様からよりコスト低減ができないかと相談があり、当社では切削レスでの加工を提案しました。この結果、コストは1/10まで削減可能となります。この切削加工から冷間鍛造への置き換え提案は、ロット数が多いほど、大幅なコストダウンにつながります。オール切削で製造している量産品がありましたら、一度ご相談ください！



六角ナット

六角ナット

## ニュース③ 一体化成型への置き換えで組立工数削減 提案！

マツダでは切削品以外にも2部品で構成される組立品を一体化成型品への置き換え提案も行っています。写真の製品は、従来プレスの打ち抜きワッシャー品と中心軸品2部品で構成され、圧入により組み立てを行っていました。これまでは組み立て部の圧入不良や検査工程数の低減が課題となっていました。そこで、冷間鍛造によりワッシャー部と軸部の両方の一体化成型を鍛造工程内で実現しました。ワッシャー部をここまで押し広げる冷間鍛造は難易度が高く、当社ならではの提案といえます。気になる方はぜひ問い合わせを！



ワッシャー部を一体化成型

ワッシャー部を一体化成型

本ニュースに関するお問合せは、下記までお気軽にどうぞ！



【お電話・FAXでのお問合せ】  
TEL : 06-6968-4981 FAX : 06-6968-4932  
担当 : 深水 (ふかみず)・横田 (よこた)

【Webサイト経由でのお問合せ】  
検索エンジンで「冷間鍛造 マツダ」と検索ください！  
<http://matsuda-fastener.co.jp/>

## 編集後記：業務部 横田より

皆様、最後までお読みいただき、ありがとうございます。早いものでもう5月を迎えました。皆さんのもとにも新入社員の方々が配属されている頃ではないでしょうか。私も昨年マツダに入社し、この時期は業務と研修を受ける毎日でした。当社の研修は“展示会出展と当日の自社説明を新人が1人でやりきる”というもので、会社を代表して出るので緊張感もあり、大変だったな…という思い出があります。ただ、あの機会を通して会社を理解し、営業活動の大変さも知ることができたので良い経験となりました。初心を忘れずに頑張っていきます！

